



※ 評価 A (十分に達成) B (ほぼ達成) C (やや課題が残る) D (かなり課題が残る)

重点目標1 基礎的・基本的な知識・技能を身につけ、「書く」「話す」力を育てるとともに、見通しをもって意欲的に学習する児童を育てる。

具体的方策	児童の自己評価アンケートの結果	評価	達成状況○ と次年度の展望◎
<ul style="list-style-type: none"> 漢字・計算学習の確認テストを行う。 タブレットPCを活用し、ドリル学習を行う。 学習活動や日記指導では、主語と述語の関係や既習漢字の指導を行い、言葉の使い方を意識させ表現させる。 最後まで話をしっかりと聴く習慣を身につけさせる。「あったかもおへそで聴こう」 自力解決の時間を確保し、自分の考えを明確にできるよう、「書く」場面を増やす。 ホワイトボードやICTを効果的に活用した発表や話し合い活動をさせる。 「家庭学習の友」や「家庭学習充実週間」を活用し、家庭連携を図る。 <p>評価基準 年度末ふりかえりアンケートで、「自分の考えを文章に書いたり、分かりやすくまとめて発表できた」と回答する児童が、全校75%以上をめざす。</p>	<p>7. 授業中は、自分の考えを書いたり、発表したりしている</p> <p>児童アンケートは、肯定的な回答69.3%、否定的な回答は26.0%であった。昨年度の肯定的な回答より6.1%減少、否定的な回答は8.6%増加した。保護者アンケート「子どもたちは、学力が身につけてきている。」の項目について、肯定的回答をした保護者の割合は74.6%であった。昨年度より5.3%減少していた。児童と保護者ともに、目標数値をクリアすることができなかった。</p>	B	<ul style="list-style-type: none"> ○児童アンケートにおける肯定的な回答が70%を下回り、年々数値も下がってきている。自分の意見を表現するために、各学年様々な工夫(体験活動・ICT活用・ペア、グループ活動・身体表現等)を講じているが、児童自身に「自分の意見を伝えている」という意識がないように感じる。 ○6年生では、肯定的な意見が80%を超えている。これは、タブレットの扱い方やタイピングに慣れていることや、タブレットを活用した発表の機会を多教科に渡り、取り入れているためだと考える。 ○低学年では、「書くこと」「読むこと」「話すこと」の基本を徹底した指導を行い、基礎的・基本的な知識・技能が身につくよう、学年が上がるにつれ、その技能を使いこなせるような応用まで至っていない傾向がある。 ◎指導要領を確認し、その学年で身につけなければならない知識・技能を系統立てて積み重ねていく。 ◎体験活動を多く取り入れ、児童自身が自ら表現したいという意欲をもたせる。 ◎授業の中で、型にはまった発表方法だけでなく、つぶやき(自由な発言)も受け止め、学習に生かしていく。 ◎引き続き、「家庭学習の友」や「家庭学習充実週間」を活用し、家庭での学習習慣(家族で読書をする習慣も含む)を確立していけるよう呼びかける。

重点目標2 「やさしくん・ともわちゃんの心」を大切にしながら、いじめを許さない、優しく強い心を育てる。

具体的方策	児童の自己評価アンケートの結果	評価	達成状況○ と次年度の展望◎
<ul style="list-style-type: none"> みまこ宣言や、やさしくんともわちゃんの精神を「いいことみつけたよカード」等を通して、日常生活の中で自分も友だちも大切にする心を育てる。 多様な体験活動や道徳の時間、日々の生活などを通して、思いやりの心を持たせる。 学力の向上を図り、学年に応じた人権についての正しい知識を身につけさせる。 <p>評価基準 年度末ふりかえりアンケートで「友だちの悪口をいったり、いじめたりせずに、友だちとなかよく生活している」と回答する児童が、全校90%以上をめざす。</p>	<p>1. 友達の悪口を言ったり、友達をいじめたりしないで、友達と仲良く生活している</p> <p>児童アンケート肯定的な回答91.2%、否定的な回答7.1%であった。昨年度の肯定的な回答よりも4.3%減少、否定的な回答は4%増加した。保護者アンケート「人権学習を基盤とした、人権意識やのちの安全を高めるための指導がされている」の肯定的な回答をした割合は81.1%であった。昨年度より、8.4%していた。また、「決まりを守り、善悪の判断ができるなど、道徳性を高めるための指導がされている」の肯定的な回答は89.4%であった。昨年度より、1.1%減少した。児童と保護者ともに、昨年度より減少した。</p>	A	<ul style="list-style-type: none"> ○児童アンケートにおける肯定的な回答が、年度当初に立てた90%の目標数値を超えている。 ○「いいことみつけたよカード」等をはじめとする日常的な取組や、人権ボランティア委員会を中心とした「なかよし集会」「やさしくん・ともわちゃんウィーク」等の取組によって、自分も友だちも大切にする意識が育まれている。 ○異学年への読み聞かせ活動等を通して、児童相互の結びつきが強まった。 ○学年便りでの人権に関する記事の掲載や人権の授業参観を通して、保護者への啓発を行った。 ◎人権ボランティア委員会を中心とした「いいことみつけたよカード」等の取組を継続させ、人権意識を育んでいく。 ◎縦割り班活動を充実させ、児童相互のつながりを強める。 ◎定期的なアンケート「きみのこと教えてシート」に加え、いつでも提出できる用紙を設置するなどして、問題の早期発見と解決につなげる。 ◎学びや知識を生活に結びつけられるよう、児童の言動を丁寧に見取り声掛けを行う。 ◎保護者と共に入権について学ぶ機会を通じて、連携しながら児童の人権意識を高めていく。

重点目標3 年間を通して運動の機会を作り、自ら進んで運動に取り組み、安全に生活する態度を育てる。

具体的方策	児童の自己評価アンケートの結果	評価	達成状況○ と次年度の展望◎
<ul style="list-style-type: none"> 遊具検定、水泳検定、なわとび検定、等により、年間を通して運動の目標を持たせる。 業間休み、昼休みの外遊びを推奨する。 始業前の運動場遊びの時間を設ける。 体育の時間の運動量を確保し、基礎体力向上を図る。 安全に関する指導を充実し、安全への意識を高める。 生活習慣改善プロジェクト「のびのび教室」による個別別指導を実施する。 <p>評価基準 年度末ふりかえりアンケートで「休み時間や体育の時間には、しっかりと体を動かしている」と回答する児童が全校85%以上をめざす。</p>	<p>4. 休み時間や体育の時間には、体を動かして運動している</p> <p>児童アンケート肯定的な回答90.3%、否定的な回答8.8%であった。昨年度の肯定的な回答より0.6%増加、否定的な回答が0.3%減少した。学年によっての違いはあるが、運動を好んでいる傾向が見られた。保護者アンケート「子どもは体力が身につけてきている」の項目について肯定的な回答した割合は82.8%で、昨年度より2.9%増加していた。児童の目標数値はクリアできたが、保護者の目標数値はクリアできなかった。</p>	B	<ul style="list-style-type: none"> ○各種検定や運動週間の見直しにより、児童アンケートにおける肯定的な回答が、85%の数値目標を達成している。また、昨年度よりも上昇している。 ○教員が休み時間に外に出て一緒に遊ぶことが継続され、休み時間に校舎外で遊ぶ児童が増えた。目標をもって運動をしたり、他学年とも積極的に交流しながら遊んだりしている姿も見られた。 ○休み時間に体育館を開放することにより、運動に参加する児童が増えた。 ○全学年での体力テストの実施や、アンケート・調査結果を家庭と共有したことで、保護者からの肯定的な回答も4%上昇した。しかし、数値目標は達成できなかった。 ◎家庭での運動習慣をより身につけるため、今後も、アンケートや調査結果の共有を行い、連携、協力が得られるようにする。 ◎今年度の検定や、運動週間の頻度を継続し、児童が目標を持って運動に取り組み、家庭でも運動の話題づくりにつながるよう働きかける。 ◎生活習慣改善プロジェクトや毎月の保健だよりとも連携して、運動習慣や生活習慣の改善に努める。

○学校評価総括表についての所見

●「重点目標1」について

学校の自己評価への評価 妥当	<ul style="list-style-type: none"> ・この頃になって、よく「漢字検定」のことを耳にします。その合格への意欲はすばらしく、家庭の方でも様々な方法で支援している様子です。希望者だけとはいえ、それに向けての準備など、先生方も大変だと思いますが、子ども達がとても楽しそうに検定への大変さを味わっているように感じました。 ・【「話す」「書く」「読む」ことの学年が上がると・・・】の点、読書や様々なツールでインプットされたものを、自分の考えをめぐらせ言葉にする力。このアウトプットの力が、高学年は大切ですね。 ・授業の中で、学年によりいろいろな工夫をされているのがよく分かります。
-----------------------	--

●「重点目標2」について

学校の自己評価への評価 妥当	<ul style="list-style-type: none"> ・異学年への読み聞かせなどの活動の成果だと思いますが、全学年を通じて、仲が良く優しく思いやりがある雰囲気があります。先生方と子ども達との様子にも、運動会の際、見ていてそう感じました。 ・やさしくん、ともわちゃんの活動など、継続的に行うことにより、人権意識が高まっているのがよくわかります。
-----------------------	---

●「重点目標3」について

学校の自己評価への評価 妥当	<ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな検定を行うことで、子ども達の運動意欲を高めたり、また、先生方が一緒に運動機械を作るなどの努力によるものだと、A評価をしたいところです。 ・家庭でも運動する時間を作る努力をお願いしたいです。 ・気候の変動により、過ごしやすい時期が年々短くなっています。その中で、みんなが自ら運動する工夫があることで、児童のアンケート数値も上がったと思います。
-----------------------	--

・合同運動会や1年生との交流など、お世話になっております。交流の機会は、就学前の子ども達にとっても、あこがれや期待の場となっています。これからもよろしくお願いします。

●その他教育活動全般について

参考資料及び添付資料

※以下の資料を添えて、職員研修で考察した「学校評価総括表」送付し、所見を記入していただきました。

※添付資料 児童向けアンケートおよびアンケート結果
 保護者向けアンケートおよびアンケート結果
 教職員向けアンケートおよびアンケート結果
 「学校評価アンケート」の結果について